

ひるまだより

医療法人社団トモニアム
ひるま矯正歯科
Hiruma Orthodontic Office

発行:ひるま矯正歯科
〒190-0012 立川市曙町2-9-1 菊屋ビルディング2F
TEL:042-526-3376/FAX:042-528-1102
URL:http://www.hiruma.or.jp/

お知らせ

●キャンセルによる予約の空き状況を当院ホームページと Twitter でお知らせしています。

twitter **hirumac**

●当院ホームページを見やすくリニューアルしました。ご覧下さい!

特集

患者さんインタビュー③

「夢だった海外留学、矯正治療中でも叶えられた」

治療後、偏頭痛や肩こり、顎の腫れなどのトラブルが改善したというAさんにお話を伺いました。インタビューの内容をタイエラスト版でお届けします。全文はホームページで。

◆矯正治療を始めたきっかけを教えてください。

上の前歯が下の前歯に歯並びが気になっただけに加え、偏頭痛や肩こり、顎の関節もガクガクしてはれたりなど、トラブルが絶えませんでした。これらは歯並びが原因なのではない、病院探しを始めたのですが、なかなかこれという所にめぐりあえず…。先生によって言うことも違い、誰を信じていいのかという感じでかなり悩みましたね。

◆ひるま矯正歯科はどのようにして知ったのですか。



◆自分が求める条件に合う矯正歯科を探せる検索サイト、ひるま矯正歯科を知りました。初診に行ってみると、先生がとても優しく歯の状態を見てくれ、肩こりや偏頭痛、顎のトラブルについても真剣に考え、専門の病院まで紹介してくれて。親身で的確なアドバイスをもらえる医院にやっとならなりました。先生に感謝しています。

◆治療中に海外留学されたそうですね。
——治療真っ最中の半年間、オーストラリアに留学しました。以前から晝間先生に「留学すると、その分だけ治療期間がのびるのであまりおすすしませんよ」と言われていたのですが、夢のひとつだった留学を、矯正を理由にあきらめたくはありませんでした。その事を正直に話したら、先生も理解してくださったんです。留学してもよい時期などを相談し、親身なアドバイス



Aさんの症状について解説します

●初診時の診断:「上突咬合・過蓋咬合・叢生歯列」
Aさんの上顎歯列は下顎歯列に対して前方に位置するアングル2級で、上顎前歯は下顎前歯の2/3近くを覆う過蓋咬合を呈しています。また、上下顎前歯部に叢生を認めます。治療方針は小臼歯抜歯により叢生の改善および大臼歯を近心に移動する事としました。動的治療開始から13ヵ月後より6ヵ月間の海外留学のため、一時的に矯正装置を除去。抜歯スペースは残っているものの、動かした歯が元に戻らないように上顎には可撤式リテーナー、下顎には固定式リテーナーを装着しました。帰国後、遠心移動した上顎犬歯が近心に若干戻り、前歯の被蓋は留学前に比べて深く(下顎前歯との重なりは大きく)なっていました。動的治療期間は留学期間も含めて約45ヵ月で予定よりも15ヵ月長かかりましたが、治療結果は上下顎前歯が後退した事で口唇の突出感が減少し、口唇の翻転が改善。叢生、上下顎前歯の唇側傾斜、過蓋咬合も改善され、上下顎の全ての歯が効率よく接触する安定した咬合を得る事ができました。臼歯関係はアングル2級から1級の理想的な咬合関係に改善しました。